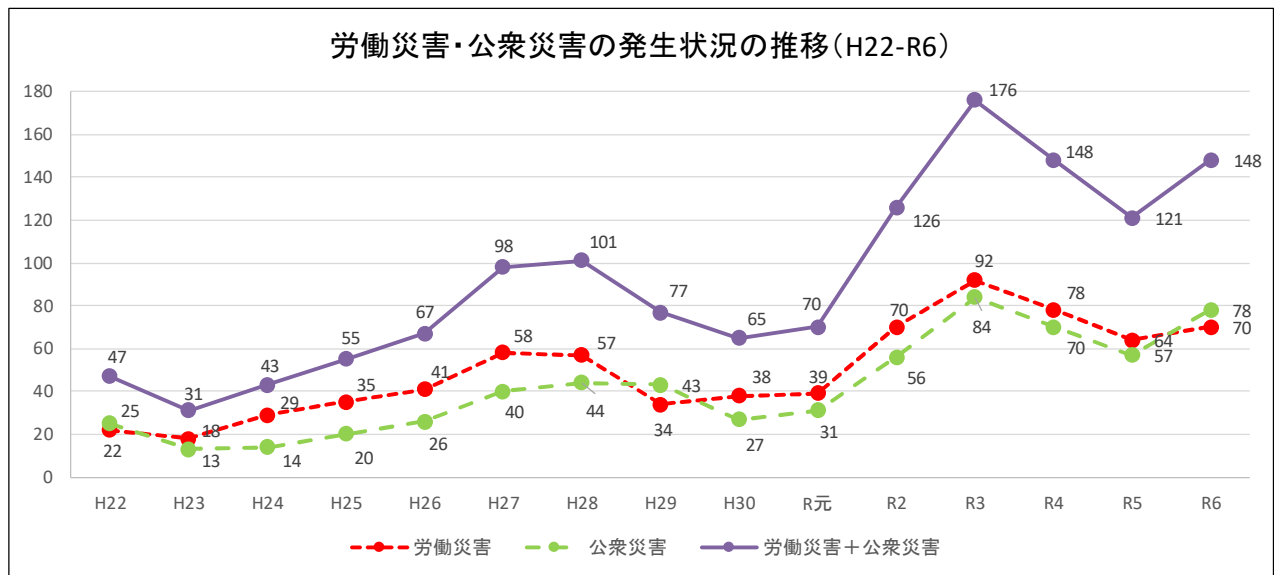


令和7年度 建設工事安全対策重点計画

1 労働災害・公衆災害の発生状況



(単位:件)

事務所	R5			R6			増減 (R5-R4)
	労働災害	公衆災害	計	労働災害	公衆災害	計	
県北建設事務所	(1) 7	5	(1) 12	12	8	20	8
県中建設事務所	10	13	23	4	15	19	-4
県南建設事務所	3	3	6	5	0	5	-1
会津若松建設事務所	7	4	11	5	16	21	10
喜多方建設事務所	8	5	13	5	5	10	-3
南会津建設事務所	5	5	10	11	5	16	6
相双建設事務所	(1) 7	6	(1) 13	10	10	20	7
富岡土木事務所	2	2	4	2	2	4	0
いわき建設事務所	7	8	15	7	14	21	6
相馬港湾建設事務所	7	0	7	4	1	5	-2
小名浜港湾建設事務所	1	2	3	1	0	1	-2
福島空港事務所	0	0	0	0	1	1	1
県北流域下水道建設事務所	0	0	0	0	0	0	0
県中流域下水道建設事務所	0	0	0	0	0	0	0
営繕課	0	4	4	4	1	5	1
合計	(2) 64	57	(2) 121	70	78	148	27

※()は死亡事故

①労働災害

・転落・墜落：11件（前年比±0件）

➢ 建築工事において、梁の型枠を設置していた作業員が高さ約3.4m足場から床面に転落、頭部等を打ち、負傷した事故等。死亡事故は無し。

・挟まれ・巻き込まれ：10件（前年比+3件）

・その他の公衆災害：33件（前年比+1件）

➢ 熱中症：12件（前年比-3件）、蜂刺され：10件（前年比+6件）等。

②公衆災害

・上空障害物に係る事故：15件（前年比+5件）

・埋設物に係る事故：14件（前年比+1件）

・その他の公衆災害：39件（前年比+17件）

➢ 刈り払い機による飛び石：15件（前年比+8件）、交通事故による物損：12件（前年比+9件）等。

2 土木部基本方針

【調査設計段階】

①調査設計において、現場条件に合致した施工方法と安全な仮設計画に配慮する。

【発注準備・着工準備段階】

②必要な安全経費の計上と適切な工期を設定する。

③施工計画書が共通仕様書及び現場の施工条件に合致していることを確認する。

【施工段階】

④現場で工程会議を行い、工程が安全管理に問題を生じさせていないか確認する。

⑤工事の進捗に合わせ、安全パトロールを適宜実施し、現場の安全管理体制を確認する。

⑥仮設工が設計通り適切に行われているか確認し、変更が必要な場合は適切に変更設計を行う。

⑦施工状況を確認する際に、安全管理が適切になされているか確認する。

⑧施工条件が当初と異なる場合は、甲乙協議に基づき、適切に設計変更を行う。

【竣工・その他】

⑨供用開始に当たって、安全性が確保されているか確認する。

⑩発注者として安全教育を実施し、安全管理に関する技術力の向上を図る。

3 事務所重点計画

【技術管理課】

(1) 令和7年度のスローガン

高めよう 一人ひとりの安全意識 組織で取り組む安全対策

(2) 具体的な取り組み内容

①労働災害・公衆災害発生状況を部内及び業界へ周知し、注意喚起を図る。(毎月)

②重大な事故等の発生時や同じような事故等が続発した場合、メールにより関係者へ発生概要を周知し、注意喚起を図る。(随時)

③土木部専門研修や各種会議を通じて職責に応じた役割や事故防止対策事例を講義し、安全管理における発注者の役割を周知する。(随時)

④重大事故や事故の多い管内に対し、アラートを発出し、注意喚起を図る。(随時)

【県北建設事務所】

(1) 令和7年度のスローガン

「労災ゼロ」 ～無事故で護るみんなの未来～

(2) 具体的な取り組み内容

①現場工程会議に合わせて社内パトロールの確認等、安全管理状況をチェックする。

②労働基準監督署およびRST福島との合同パトロールを実施し、所内及び建設工事安全推進協議会会員で共有する。

③労働基準監督署の講話を建設工事安全推進協議会の全会員に実施する。

④安全に関する各種情報を所内および建設工事安全推進協議会の全会員に随時提供する。

⑤施工計画書作成時に社内安全管理者の指導内容を添付させるとともに、社内安全管理者との意見交換会を実施する。

【県中建設事務所】

(1) 令和7年度のスローガン

おかしいぞ 思った時にすぐ改善 異常の放置は 危険の放置

(2) 具体的な取り組み内容

- ①施工計画書策定時における安全管理体制の重点確認
(作業開始前のKY活動や刈り払い等を含めた準備工の安全対策の確認、随時)
- ②現場工程会議の実施(初回の施工計画書に基づく現場の安全管理体制の重点点検、
5月末の熱中症対策の確認、事故発生状況等を踏まえた所内及び受注者への注意喚起)
- ③公衆災害防止の対応状況の確認(長期休暇前に実施:全ての請負工事で実施)
- ④専門技術管理員、部長、課長による抜き打ち安全パトロールの実施
(比較的小規模な維持工事や営繕工事を中心的に抽出、年3回)
- ⑤若手職員を含めた安全推進協議会による安全パトロールの実施と安全研修会の開催
(過去に発生した労働災害を踏まえた現場指導や労働基準監督署を招いた研修会の開催、年2回)

【県南建設事務所】

(1) 令和7年度のスローガン

安全は だろうと慣れを 捨て去って

(2) 具体的な取り組み内容


- ①現場着手前の安全計画確認(架空線・埋設物、熱中症対策、通行規制方法等)
- ②現場における安全対策実施状況と適切な指導
- ③現場工程会議等における作業員の事故発生防止の注意喚起
- ④事故情報の速やかな共有と安全研修会の実施
- ⑤課長以上による現場パトロールの実施(若手職員も同行)

【会津若松建設事務所】

(1) 令和7年度のスローガン

ちょっとまって 果たしてこれは安全か 皆で確認 ゼロ災現場

(2) 具体的な取り組み内容

- ①安全推進協議会及び會津  美 Lady(女性技術者)との合同安全パトロールを実施する。
- ②所内課長以上と若手職員による抜き打ち安全パトロールを実施する。
- ③事故情報等の受発注者間の情報共有や安全対策に関する情報発信を強化する。
- ④現場工程会議を実施し、現場の進捗と安全管理の状況を確認する。
- ⑤安全講習会・研修会の実施や、個別必要により設計時施工技術検討会で安全対策を検討する。
- ⑥スローガンをヘルメット及び現場事務所へ掲示し、受発注者双方で危機意識の向上を図る。

【喜多方建設事務所】

(1) 令和7年度のスローガン

さすけねえ その思い込みが 命取り

(2) 具体的な取り組み内容

①日常の重点的な取り組み

- ・初回打合せ時に、各現場特性に勘案した具体的な事故防止対策を施工計画書に立案するよう助言する。
また、安全教育等の工夫について積極的な取り組みを促す。
- ・上空障害物対策として、「架空線等上空施設に係る現場のチェックリスト」による各現場での施工段階確認の徹底を図る。

②安全パトロールの実施

- ・官民合同により、7月の労働安全週間と10月の全国労働衛生週間に合わせ、発注者と受注者に労働基準監督署を含めた3者にて合同パトロールを実施する。
- ・課長以上により年4回抜き打ち安全パトロールを実施する。(監督員や若手職員を同行させる。)

③労働安全講習会の開催

- ・外部講師として労働基準監督署と労働安全衛生コンサルタントを招き、年1回開催する。
また、交通事故対策として管内警察署から講師として招き講習会を開催する。

④現場工程会議の開催

- ・月1の現場工程会議において、課長等が現場の安全確認を行うとともに、施工計画書等における安全管理等の遵守を指導する。

⑤夏場特有の事故の防止対策

- ・「熱中症対策に必要な費用を工事費に計上できること」等を受注者に周知し、熱中症対策の準備を促す。
- ・除草業務等の作業前に、刈り払い機による事故防止対策等を再確認するよう受注者に周知する。

⑥情報発信の強化

- ・定期的(年3回)に労働安全に係るニュースレター等による情報発信を行う。

⑦労働災害防止に関する標語の募集、表彰

- ・受注企業の社員や実際に現場で働く作業員及び工事発注機関で働く全ての職員から、労災防止に向けた標語の募集・表彰を行い、最優秀作品を事務所のスローガンとし現場に掲示することで、全ての工事関係者へ安全意識の啓発を図る。

【南会津建設事務所】

(1) 令和7年度のスローガン

週休2日 心と身体に余裕を持って ゼロ災害

(2) 具体的な取り組み内容

①現場工程会議における施工方法の確認

(監督員等による適切な工程確認、各施工に必要な有資格者の確認、施工計画書と現場の整合確認、KY 活動内容の確認、熱中症対策確認、上空障害物対策確認)

- ・工程管理だけでなく施工計画書や共通仕様書、特記仕様書に基づいた安全対策の確認に力点を置く。(監督員)
- ・安全管理に問題が確認された場合、一週間以内に現場代理人または主任技術者に是正報告書を提出させる。

②現場立会終了後、安全管理に対する指摘事項を口頭復命することをルール化

③安全パトロールの実施

- ・専門技術管理員等による毎月の安全パトロールの実施と実施結果の情報共有(受発注間)により意識向上を図るとともに、若手職員を積極的に同行させることで、現場の安全管理意識向上を図る。
- ・労働基準監督署等を講師として、県及び受注者合同によるパトロールを実施する。
(公共工事安全推進協議会)

④公衆災害防止のため、お盆や年末年始の長期休暇前に監督員や係長、課長による各現場のパトロールを実施する。

⑤個別事故発生時の担当課長による対応

- ・事故発生時の現地立会(発注者と、元請け会社を含む受注者)による発生原因の検証と再発防止策の検討
- ・事故発生事例の確実な周知と、建設業協会との意見交換会における受注者との情報共有、事務所全体での情報共有を実施する。

⑥技術系職員全員を対象に、所内研修会を開催する。

(労働災害防止に関する知識の習得、ヒヤリハット事例等の情報共有)

- ・安全管理に関する所内研修会を実施して、事故事例の共有と監督員の意識向上を図る。

⑦道路パトロールによる確認を行う。

(現道工事の通行規制状況等のチェックによる第三者災害事故の防止)

⑧必要な安全経費の計上、適切な工期・工程設定、特記仕様書の施工条件の明示

【相双建設事務所】

(1) 令和7年度のスローガン

慣れた作業に ひそむ事故 いつも心に危険予知

(2) 具体的な取り組み内容

①現場着手前の安全計画確認

(架空線・埋設物の防護、熱中症対策、刈り払い機の取り扱い、通行規制方法等)

②現場工程会議における作業員の安全意識向上対策の確認

(作業時の注意点、工事車両の安全運行等)

③現場における安全対策実施状況の確認

④事故情報の速やかな共有と安全研修会の実施

⑤課長以上による抜き打ち現場パトロールの実施

(若手職員を帯同し、安全意識の向上を図る)

【富岡土木事務所】

(1) 令和7年度のスローガン

違和感を 感じて報告 事故防止

(2) 具体的な取り組み内容

①監督員は、現場着手前に現場代理人と現場を踏査し事故因子と対策が施工計画書に反映されているか確認するとともに、現場立会時に履行状況を確認する。

②係長以上の職員は、現場の安全管理の指導を行うとともに、事故防止の取り組み等の事例を周知し、類似事故の発生を防止する。

③事業担当課長は、毎月の工程会議に併せ、現場の安全パトロールを実施する。

④課長、係長及び監督員が参加する合同抜き打ち安全パトロールを実施し、危険箇所の確認・是正を行うと共に、監督員の危険予知能力の底上げを図る。

⑤所長及び業務担当次長は、不定期に現場を確認し、必要な安全対策を指示する。

【いわき建設事務所】

(1) 令和7年度のスローガン

気づきの中に潜む危険 言葉に出せば減る危険 言葉で安全言う勇氣

(2) 具体的な取り組み内容

①現場着手前の安全計画確認、安全対策実施状況の確認と適切な指導

- ・監督員、各担当課長は、施工計画書策定時において安全計画を確認する。また、安全対策実施状況の確認と適切な指導を随時行う。

②安全パトロール

- ・担当課長、専門技術管理員による現場安全パトロールを監督員や若手職員を同行させ、毎月必ず実施する。改善点の指示や注意喚起を書面で行う。専門技術管理員は各課長の巡視箇所や頻度、改善状況を管理し所内共有を図る。
- ・建設工事安全推進協議会による安全パトロールを抜き打ちで年3回実施する。

③安全講習会

- ・監督員、受注者、必要に応じ下請会社を対象とした安全講習会を年3回開催し、安全管理に関する意識の啓発を図る。

④個別事故発生時の対応

- ・事故発生時にはその程度に応じ、発注者、受注者、必要に応じ下請会社において、真の発生原因の検証と有効な再発防止対策を検討のため、必ず現地で意見交換を行う。
- ・事故発生時にはその都度、受発注者で事例を共有し、再発防止と安全意識の向上を図る。

⑤異常気象時等の対応

- ・大雨警報等の異常気象が予想される場合には、現場の安全管理について、担当課長が現地の対応状況を確認する。

【相馬港湾建設事務所】

(1) 令和7年度のスローガン

想定外 とっさの作業が 事故のもと 環境・手順を 再確認

(2) 具体的な取り組み内容

①現場工程会議時に併せて現場の安全対策について確認し、施工時のリスク源の抽出、安全活動状況の確認・指導を行う。

②段階確認時において、下請けへの指導状況等の施工体制を確認し、末端作業員までの安全意識の浸透を図る。

③所内係長以上のメンバーによる抜き打ち安全パトロールを実施し、不安全行動を速やかに改善する。また、各港に設置されたライブカメラで安全対策を確認する。

④監督員及び現場代理人等を対象とした研修会を開催すると共に、労働災害発生状況を受発注間で共有し、安全管理に関する知識の向上を図る。

⑤早期の工事発注により、標準工期を確保し、受注者の現場における安全でゆとりのある工程管理と適切な安全管理の実施を推進する。

【小名浜港湾建設事務所】

(1) 令和7年度のスローガン

慣れた作業に潜むキケン キホンを守ってゼロ災害

(2) 具体的な取り組み内容

- ①課長職以上の者と若手（担当）職員による安全パトロールの実施
- ②小名浜港安全協議会による重点パトロールへの参加
- ③受発注者が共に安全意識を共有する講習会の開催
- ④県内・管内における事故発生などの情報共有
- ⑤施工計画書が現場特有の対策となっているか確認

【福島空港事務所】

(1) 令和7年度のスローガン

安全を すべてに優先 ゼロ災害

(2) 具体的な取り組み内容

- ①若手職員と課長以上による安全パトロールの実施
- ②受注業者と工事の安全対策に関する会議の実施
- ③県内における事故発生情報の共有

【県北流域下水道建設事務所】

(1) 令和7年度のスローガン

安全は 一人一人の意識が大事 皆で確認・改善を

(2) 具体的な取り組み内容

- ①受注業者（下請け含む）と発注者による、合同パトロールの実施（年2回）
- ②業務担当次長又は建設課長による、抜き打ち安全パトロールの実施（年3回）
- ③下水道工事特有の仮設工や有毒ガス対策等の安全管理状況を現場で確認
- ④事故情報等について、速やかに所内及び現場（下水処理場管理業務受託者含む）と情報共有
- ⑤安全管理における知識習得と意識向上を目的とした所内研修会を実施（年2回）

【県中流域下水道建設事務所】

(1) 令和7年度のスローガン

事故ゼロを目指し、みんなで取り組む「安全管理」と「情報共有」

(2) 具体的な取り組み内容

- ①運転管理業務受託者と一体となった安全推進連絡協議会を設置し、定期的に開催します。
- ②施工計画書が、現場条件に合致した安全な施工方法・仮設計画となっているかを確認します。
- ③夏場の熱中症防止対策について、実施状況を現地で確認します。
- ④下水道工事特有の事故等の情報共有を徹底するとともに、類似現場での安全管理状況を確認し、事故の未然防止を図ります。
- ⑤全ての工事において、チェックリストを用いて安全パトロールを実施し、事故発生に繋がる予兆を察知し、指導・助言を行います。